

# 歯内療法学実習Ⅱ

責任者名：武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

## ◆担当教員

武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)

林 誠(歯科保存学Ⅱ 教授)

勝呂 尚(歯科保存学Ⅱ 専任講師)

清水 康平(歯科保存学Ⅱ 准教授)

羽鳥 啓介(歯科保存学Ⅱ 助教)

鈴木 裕介(歯科保存学Ⅱ 助教)

安川 拓也(歯科保存学Ⅱ 助教)

小木曾 文内(歯科保存学Ⅱ 特任教授)

## ◆一般目標 (GIO)

歯髄および根尖歯周組織の疾患に対する治療を身につけるために、模型およびマネキン実習を通して基本的な診査、診断および治療に必要な知識、技能および態度を習得する。

## ◆到達目標 (SBOs)

- ①歯髄疾患の症状を理解し、適切な診断ができる。
- ②診断に基づき、適切な治療法を選択できる。
- ③歯髄除去療法の術式を実施できる。
- ④失活歯に対する処置法を選択できる。
- ⑤急性根尖性歯周炎に対する適切な対症療法を選択できる。
- ⑥感染根管治療の術式を実施できる。
- ⑦根管充填の時期と目的を理解し、適切な根管充填法を選択できる。
- ⑧ニッケルチタンファイルを用いた根管治療の特徴を説明できる。
- ⑨ニッケルチタンファイルを用いた根管拡大形成法を実施できる。

## ◆評価方法

理解度チェック・実習評価 (50%)、実技試験 (30%) および平常試験 (20%) で評価する。

理解度チェック終了後に試験内容の解説を行う。さらに、実習終了後、当日の実習内容についてのフィードバックを行う。

なお、歯内療法学範囲の実技試験が実施できない場合はレポートを課す。レポートにより評価し、判定する。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
武市 収	月曜日 17:00～18:00・本館6階 歯科保存学第Ⅱ講座教授室	takeichi.osamu@nihon-u.ac.jp	

林 誠	月曜日 17:00～18:00・本館6階 歯科 保存学第Ⅱ講座研究室	hayashi.makoto53@nihon-u.ac.jp	
勝呂 尚	月曜日 17:00～18:00・本館6階 歯科 保存学第Ⅱ講座研究室	suguro.hisashi@nihon-u.ac.jp	
清水 康平	月曜日 17:00～18:00・本館6階 歯科 保存学第Ⅱ講座研究室	shimizu.kohei01@nihon-u.ac.jp	
羽鳥 啓介	月曜日 17:00～18:00・本館6階 歯科 保存学第Ⅱ講座研究室	hatori.keisuke@nihon-u.ac.jp	
鈴木 裕介	火曜日 17:00～18:00・本館6階 歯科 保存学第Ⅱ講座研究室	suzuki.yusuke@nihon-u.ac.jp	
安川 拓也	月曜日 17:00～18:00・本館6階 歯科 保存学第Ⅱ講座研究室	yasukawa.takuya@nihon-u.ac.jp	

#### ◆授業の方法

実習を始めるにあたり、当日の内容について動画を用いた説明を行い、その後各班のインストラクターが実演による補足説明を行う。実習中は実技指導等により理解を深めてもらうとともに、実習内容の確実な習得を図る。実習後は実習内容のフィードバックを行い、反省点について考察する。

【実務経験】武市収：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院歯内療法科での臨床経験および歯科保存学第Ⅱ講座の教授として研究等で得られた最新の知見を踏まえながら、本教科で学ぶ内容の理論や手技を歯科臨床の現場で活かすための実技指導を行う。

【実務経験】林誠：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院歯内療法科での臨床経験および歯科保存学第Ⅱ講座の教授として研究等で得られた最新の知見を踏まえながら、本教科で学ぶ内容の理論や手技を歯科臨床の現場で活かすための実技指導を行う。

【実務経験】清水康平：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院歯内療法科での臨床経験および歯科保存学第Ⅱ講座の准教授として研究等で得られた最新の知見を踏まえながら、本教科で学ぶ内容の理論や手技を歯科臨床の現場で活かすための実技指導を行う。

【実務経験】勝呂尚：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院歯内療法科での臨床経験および歯科保存学第Ⅱ講座の専任講師として研究等で得られた最新の知見を踏まえながら、本教科で学ぶ内容の理論や手技を歯科臨床の現場で活かすための実技指導を行う。

【実務経験】羽鳥啓介、鈴木裕介、安川拓也：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院歯内療法科での臨床経験および歯科保存学第Ⅱ講座の助教として研究等で得られた最新の知見を踏まえながら、本教科で学ぶ内容の理論や手技を歯科臨床の現場で活かすための実技指導を行う。

#### ◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書（教）	歯内療法学実習要綱：基礎実習編	日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座	日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座	2020

参考書（参1）	歯内治療学 第5版	勝海一郎他	医歯薬出版株式会社	2018
参考書（参2）	エンドドンティクス 第5版	興地隆史他	株式会社 永末書店	2018

#### ◆DP・CP

##### DP3

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

##### DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

##### DP5

##### DP5

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

##### CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

##### CP4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

##### CP8

各学年における学修で得た歯科医学の知識、技術および省察力をもとに、歯科医師として生涯にわたり学習する姿勢を育成する。

#### ◆準備学習(予習・復習)

実習要綱および参考書を熟読し、事前に実習内容、目的および手順について理解を深めておくこと。

実習後には必ず実習内容の復習を行い、自分が行った実習内容の欠点を補うことで、その反省点を次回の実習に反映させること。

なお、実習には歯内療法学実習要綱：基礎実習編を持参すること。

#### ◆準備学習時間

準備学習に記載された事項に必要なだけの時間を充てて、実習内容の予習と復習を行うこと。

#### ◆全学年を通しての関連教科

歯科理工学Ⅰ（2年後期）

組織学（2年前期）

口腔組織学（2年後期）

生理学・口腔生理学（2年前後期）

感染と免疫（3年前期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

ベーシックカリオロジー（3年前期）

微生物の基本操作（3年前期）

基礎病理・臨床口腔病理（3年前後期）

薬理学総論（3年後期）

歯冠補綴学（3年後期）

ベーシックカリオロジー（3年前期）

クリニカルカリオロジー（3年後期）

歯内療法学および歯内療法学・歯周病学実習Ⅰ（4年前期）

薬理学各論（4年前期）

歯周病学（4年前期）

アドバンスト歯内療法・歯周病学（4年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	A班・B班合同	9.9	3	1. 歯髄除去療法 I-1 1)透明根管模型（前歯）を用いた髄腔開拓～抜髄～根管拡大・形成～貼葉～仮封 2)ブローチ綿線維の巻き方Ⅰ 3)仮封法Ⅰ（単一仮封法） 4)理解度チェック（教） pp.20-25（参1） pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150（参2） pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144	・2020年9月10日（木）に行う透明根管模型を用いた歯髄除去療法 I-1 の実習前講義を遠隔で行う。 ・出欠確認を兼ねて、classroom にて小試験を行う。 ・抜髄法の術式の習得をする目的から、上顎前歯透明根管模型を用いて髄腔開拓から根管拡大・形成までの術式を説明できる。 ・根管内での器具の動き、切削感覚、切削される部位と切削されにくい部位等について説明できる。 ・根管治療で頻用されるブローチ綿線維の巻き方を実施できる。 ・種々の仮封材（剤）の中から、患歯の状態や使用目的に合わせて仮封法を説明できる。	武市 収 林 誠 勝呂 尚 清水 康平 羽鳥 啓介 鈴木 裕介 安川 拓也 小木曾 文内	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療
2 ～ 3	A班 ～ B班	9.10 ～ 9.10	1 ～ 2 3 ～ 4	1. 歯髄除去療法 I-1 1)透明根管模型（前歯）を用いた髄腔開拓～抜髄～根管拡大・形成～	・抜髄法の術式の習得をする目的から、上顎前歯透明根管模型を用いて髄腔開拓から根管拡大・形成までの術式を説明できる。 ・根管内での器具の動き、切削感覚、切削される部位と切削されにくい	林 誠 清水 康平 勝呂 尚 羽鳥 啓介 鈴木 裕介 安川 拓也	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療

			<p>貼葉～仮封</p> <p>2)ブローチ綿線維の巻き方 I</p> <p>3)仮封法 I (単一仮封法)</p> <p>4)理解度チェック (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144</p>	<p>い部位等について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根管治療で頻用されるブローチ綿線維の巻き方を実施できる。</li> <li>・種々の仮封材 (剤) の中から、患歯の状態や使用目的に合わせて仮封法を説明できる。</li> <li>・第1回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>	<p>小木曾 文内</p>	
4	A 班・B 班 合同	9.16	<p>3 2. 歯髄除去療法 I-1・I-2</p> <p>1)透明根管模型 (前歯) を用いた髄腔開拓～抜髄～根管拡大・形成～貼葉～仮封</p> <p>2)実習用マネキン顎模型 (前歯) を用いた髄腔開拓～抜髄～根管拡大・形成～貼葉～仮封</p> <p>3)ラバーダム防湿法 I</p> <p>4)ブローチ綿線維の巻き方 I</p> <p>5)仮封法 I (単一仮封法) (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-</p>	<p>・2020年9月17日(木)および9月24日(木)に行う透明根管模型(前歯)と実習用マネキン顎模型(前歯)を用いた歯髄除去療法の実習前講義を遠隔で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。</li> <li>・第1回実習で学習した単根管歯の抜髄処置について透明根管模型(前歯)を用いて再度実習し、根管充填が行える状態まで根管拡大・形成を行う。</li> <li>・第1回・第2回実習で学習した単根管歯の抜髄処置について実習用マネキン顎模型(前歯)を用いて再度実習し、臨床に近似した状況下で視認や器具操作が制限されることを体験し、診療姿勢や器具の操作法を修得する。</li> <li>・根管治療におけるラバーダム防湿の目的と重要性を理解し、上顎前歯に対するラバーダム防湿の技法を修得する。</li> <li>・根管治療で頻用されるブローチ綿線維の巻き方の術式を修得する。</li> </ul>	<p>歯科保存学 第II講座</p>	<p>E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療</p>

				114 pp.123- 144			
5 ～ 6	A 班 B 班	9.17 9.17	1 ～ 2 3 ～ 4	2. 歯髄除去療法 I - 1 1)透明根管模型 (前歯)を用いた 髓腔開拓～抜髄～ 根管拡大・形成～ 貼葉～仮封 2)ブローチ綿線維 の巻き方 I 3)仮封法 I (単一 仮封法) 4)理解度チェック (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115- 150 (参2) pp.32-46 pp.102- 114 pp.123- 144	・第1回実習で学習した単根管歯の 抜髄処置について透明根管模型(前 歯)を用いて再度実習し、根管充填 が行える状態まで根管拡大・形成を 行う。 ・根管治療で頻用されるブローチ綿 線維の巻き方を実施できる。 ・第2回実習前に実習内容の理解度 をチェックする。 ・抜髄法の術式の習得をする目的か ら、上顎前歯透明根管模型を用いて 髓腔開拓から根管拡大・形成までの 術式を説明できる。 ・根管内での器具の動き、切削感 覚、切削される部位と切削されにく い部位等について説明できる。 ・根管治療で頻用されるブローチ綿 線維の巻き方を実施できる。 ・種々の仮封材(剤)の中から、患 歯の状態や使用目的に合わせて仮封 法を説明できる。 ・第2回実習前に実習内容の理解度 をチェックする。	歯科保存学 第II講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療
7 ～ 8	A 班 B 班	9.24 9.24	1 ～ 2 3 ～ 4	3. 歯髄除去療法 I - 2 1)実習用マネキン 顎模型 (前歯)を用いた 髓腔開拓～抜髄～ 根管拡大・形成～ 貼葉～仮封 2)ラバーダム防湿 法 I 3)ブローチ綿線維 の巻き方 II	・第1回・第2回実習で学習した単 根管歯の抜髄処置について実習用マ ネキン顎模型(前歯)を用いて再度 実習し、臨床に近似した状況下で視 認や器具操作が制限されることを体 験し、診療姿勢や器具の操作法を修 得する。 ・根管治療におけるラバーダム防湿 の目的と重要性を理解し、上顎前歯 に対するラバーダム防湿の技法を修 得する。 ・根管治療で頻用されるブローチ綿	歯科保存学 第II講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療

				4)理解度チェック (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144	線維の巻き方の術式を修得する。 ・第3回実習前に実習内容の理解度をチェックする。		
9	A班・B班合同	9.30	3	3. 歯髄除去療法 I-2 1)実習用マネキン顎模型 (前歯)を用いた髄腔開拓～抜髄～根管拡大・形成～貼葉～仮封 2)ラバーダム防湿法 I 3)ブローチ綿線維の巻き方 II 4)理解度チェック (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144	・2020年10月1日(木)に行う実習用マネキン顎模型(前歯)を用いた歯髄除去療法の実習前講義を遠隔で行う。 ・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。 ・第1回・第2回実習で学習した単根管歯の抜髄処置について実習用マネキン顎模型(前歯)を用いて再度実習し、臨床に近似した状況下で視認や器具操作が制限されることを体験し、診療姿勢や器具の操作法を修得する。 ・根管治療におけるラバーダム防湿の目的と重要性を理解し、上顎前歯に対するラバーダム防湿の技法を修得する。 ・根管治療で頻用されるブローチ綿線維の巻き方の術式を修得する。	歯科保存学 第II講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診断と治療
10 ～ 11	A班 ～ B班	10.1 ～ 10.1	1 ～ 2 3 ～ 4	4. 歯髄除去療法 I-2 1)実習用マネキン顎模型 (前歯)を用いた髄腔開拓～抜髄～根管拡大・形成～	・第1回・第2回実習で学習した単根管歯の抜髄処置について実習用マネキン顎模型(前歯)を用いて再度実習し、臨床に近似した状況下で視認や器具操作が制限されることを体験し、診療姿勢や器具の操作法を修得する。	歯科保存学 第II講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診断と治療

				<p>貼葉～仮封</p> <p>2)ラバーダム防湿法 I</p> <p>3)ブローチ綿線維の巻き方 II</p> <p>4)理解度チェック (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根管治療におけるラバーダム防湿の目的と重要性を理解し、上顎前歯に対するラバーダム防湿の技法を修得する。</li> <li>・根管治療で頻用されるブローチ綿線維の巻き方の術式を修得する。</li> <li>・第4回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>		
12	A 班・B 班 合同	10.7	3	<p>5. 歯髄除去療法 II-2</p> <p>1)実習用マネキン顎模型 (小白歯) を用いた髓腔開拡～抜髄～根管拡大・形成～貼葉～仮封</p> <p>2)ラバーダム防湿法 II (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月8日(木)に行う実習用マネキン顎模型 (小白歯) を用いた歯髄除去療法の実習前講義を遠隔で行う。</li> <li>・出欠確認を兼ねて、classroom にて小試験を行う。</li> <li>・複根管歯の抜髄処置について実習用マネキン顎模型 (小白歯) を用いて実習し、臨床に近似した状況下で視認や器具操作が制限されることを体験し、診療姿勢や器具の操作法を修得する。とくに臨床においては後方歯になるに従って患歯へのアクセスや根管内器具操作が困難となることを理解する。</li> <li>・根管治療におけるラバーダム防湿の目的と重要性を理解し、上顎小白歯に対するラバーダム防湿の技法を修得する。</li> </ul>	歯科保存学 第II講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
13 ～ 14	A 班 ～ B 班	10.8 ～ 10.8	1 ～ 2 3 ～	<p>5. 歯髄除去療法 II-2</p> <p>1)実習用マネキン顎模型 (小白歯) を用いた髓腔開拡</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回実習で学習した複根管歯の抜髄処置について実習用マネキン顎模型 (小白歯) を用いて再度実習し、臨床に近似した状況下で視認や器具操作が制限されることを体験</li> </ul>	歯科保存学 第II講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療



			4	<p>～抜髄～根管拡大・形成～貼葉～仮封</p> <p>2)ラバーダム防湿法Ⅱ</p> <p>3)理解度チェック (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144</p>	<p>し、診療姿勢や器具の操作法を修得する。とくに臨床においては後方歯になるに従って患歯へのアクセスや根管内器具操作が困難となることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根管治療におけるラバーダム防湿の目的と重要性を理解し、上顎小白歯に対するラバーダム防湿の技法を修得する。</li> <li>・第5回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>		
15	A班・B班合同	10.14	3	<p>6. 歯髄除去療法Ⅲ-2</p> <p>1)実習用マネキン顎模型(大白歯)を用いた髄腔開拡大～抜髄～根管拡大・形成～貼葉～仮封</p> <p>2)ラバーダム防湿法Ⅲ (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144</p>	<p>・2020年10月15日(木)に行う実習用マネキン顎模型(大白歯)を用いた歯髄除去療法の実習前講義を遠隔で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。</li> <li>・複根管歯の抜髄処置について実習用マネキン顎模型(大白歯)を用いて再度実習し、臨床に近似した状況下で視認や器具操作が制限されることを体験し、診療姿勢や器具の操作法を修得する。とくに臨床においては、後方歯になるに従って患歯へのアクセスや根管内器具操作が困難となることを理解する。</li> <li>・根管治療におけるラバーダム防湿の目的と重要性を理解し、上顎大白歯に対するラバーダム防湿の技法を習得する。</li> <li>・第6回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>	歯科保存学第Ⅱ講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
16 ～ 17	A班 ～ B班	10.15 ～ 10.15	1 ～ 2 3	<p>6. 歯髄除去療法Ⅲ-2</p> <p>1)実習用マネキン顎模型(大白歯)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複根管歯の抜髄処置について実習用マネキン顎模型(大白歯)を用いて再度実習し、臨床に近似した状況下で視認や器具操作が制限されるこ</li> </ul>	歯科保存学第Ⅱ講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療

			～ 4	を用いた髓腔開拓 ～抜髄～根管拡大・形成～貼葉～仮封 2)ラバーダム防湿法Ⅲ 3)理解度チェック (教) pp.20-25 (参1) pp.5-14 pp.51-84 pp.115-150 (参2) pp.32-46 pp.102-114 pp.123-144	とを体験し、診療姿勢や器具の操作法を修得する。とくに臨床においては、後方歯になるに従って患歯へのアクセスや根管内器具操作が困難となることを理解する。 ・根管治療におけるラバーダム防湿の目的と重要性を理解し、上顎大白歯に対するラバーダム防湿の技法を習得する。 ・第6回実習前に実習内容の理解度をチェックする。		
18	A班・B班合同	10.21	3	7. 根管充填法 1)固型体根管充填法(側方加圧根管充填法) 透明根管模型および実習用マネキン顎模型人工歯(前歯) 2)ラバーダム防湿法Ⅳ (教) pp.43-47 (参1) pp.151-176 (参2) pp.145-162	・2020年10月22日(木)に行う透明根管模型(前歯)と実習用マネキン顎模型(前歯)を用いた側方加圧根管充填法の実習前講義を遠隔で行う。 ・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。 ・根管治療の最終処置である根管充填法の目的と意義を理解し、その術式を修得する。 ・ガッタパーチャポイントを用いる固型体根管充填法の中で本実習では側方加圧充填法の術式を用いて、すでに根管拡大・形成が終了した透明根管模型および実習用マネキン顎模型の前歯に対して実習する。 ・透明根管模型で根管充填される根管内の状態や器具 ・材料の動きを肉眼で確認すると共に、顎模型人工歯においては透明根管模型で視認したことをイメージしながら根管内の状況を理解する。	歯科保存学 第Ⅱ講座	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の 診断と治療
19	A班	10.22	1	7. 根管充填法	・根管治療の最終処置である根管充	歯科保存学	E-3-3)-(2)

～ 20	B 班	10.22	～ 2 3 ～ 4	1)固型体根管充填法（側方加圧根管充填法） 透明根管模型および実習用マネキン顎模型人工歯（前歯） 2)ラバーダム防湿法IV 3)理解度チェック（教） pp.43-47（参1） pp.151-176（参2） pp.145-162	<p>充填法の目的と意義を理解し、その術式を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガッタパーチャポイントを用いる固型体根管充填法の中で本実習では側方加圧充填法の術式を用いて、すでに根管拡大・形成が終了した透明根管模型および実習用マネキン顎模型の前歯に対して実習する。</li> <li>・透明根管模型で根管充填される根管内の状態や器具</li> <li>・材料の動きを肉眼で確認すると共に、顎模型人工歯においては透明根管模型で視認したことをイメージしながら根管内での状況を理解する。</li> <li>・第7回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>	第II講座	歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療
21	A 班・B 班 合同	10.28	3	8. 実技試験（I）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月29日（木）に行う実技試験について説明および講義を遠隔で行う。</li> <li>・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。</li> <li>・実習で履修してきた実習項目に関する実技到達度を評価するために実技試験を行い、一連の術式を再確認し、問題点を理解する。</li> </ul>	歯科保存学 第II講座	E-3-3)-(2) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療
22 ～ 23	A 班 B 班	10.29 10.29	1 ～ 2 3 ～ 4	8. 実技試験（I）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習で履修してきた実習項目に関する実技到達度を評価するために実技試験を行い、一連の術式を再確認し、問題点を理解する。</li> </ul>	歯科保存学 第II講座	E-3-3)-(2) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療
24	A 班・B 班 合同	11.4	3	9. 根尖病変付き模型による根管治療 I 1)感染根管治療 I（急性症状の鎮静化） 2)仮封法Ⅲ（サンダラック仮封法・穿通仮封法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年11月5日（木）に行う根尖病変付き模型（前歯）を用いた感染根管治療 I（対症療法）の実習前講義を遠隔で行う。</li> <li>・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。</li> <li>・根尖病変付き模型を用いて感染根管治療の概念を学修し、急性根尖性歯周炎に罹患した歯の処置法を修得</li> </ul>		E-3-3)-(2) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療

				<p>(教) pp.48-50 pp.56-61</p> <p>(参1) pp.85-150</p> <p>(参2) pp.115-144</p>	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性根尖性歯周炎に罹患した歯の根管治療で用いられる仮封法（サンダラック仮封法と穿通仮封）の術式を修得する。</li> <li>エックス線写真を用いた根管長測定法を理解する。</li> </ul>	
25 ～ 26	A班 B班	11.5 11.5	1 ～ 2 3 ～ 4	<p>9. 根尖病変付き模型による根管治療 I</p> <p>1)感染根管治療 I（急性症状の鎮静化）</p> <p>2)仮封法Ⅲ（サンダラック仮封法・穿通仮封法）</p> <p>3)理解度チェック</p> <p>(教) pp.48-50 pp.56-61</p> <p>(参1) pp.85-150</p> <p>(参2) pp.115-144</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根尖病変付き模型を用いて感染根管治療の概念を学修し、急性根尖性歯周炎に罹患した歯の処置法を修得する。</li> <li>急性根尖性歯周炎に罹患した歯の根管治療で用いられる仮封法（サンダラック仮封法と穿通仮封）の術式を修得する。</li> <li>エックス線写真を用いた根管長測定法を理解する。</li> <li>第9回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
27	A班・ B班 合同	11.11	3	<p>10. 根尖病変付き模型による根管治療 II</p> <p>1)感染根管治療 II 髄室開拓～根管拡大・形成</p> <p>2)仮封法Ⅲ（二重仮封法）</p> <p>3)水酸化カルシウムを用いた根管消毒剤の貼付</p> <p>(教) pp.48-50 pp.56-61</p> <p>(参1) pp.85-150</p> <p>(参2) pp.115-144</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年11月12日（木）に行う根尖病変付き模型（前歯）を用いた感染根管治療 II の実習前講義を遠隔で行う。</li> <li>出欠確認を兼ねて、classroom にて小試験を行う。</li> <li>第9回実習で用いた感染根管歯を用いて感染根管治療の基本術式を習得する。</li> <li>根管拡大・形成の目的と意義、治療を施行する際に留意すべき事柄などを理解する。</li> <li>根管消毒剤の確実な薬効を得るために用いられる仮封法（二重仮封法）の術式を修得する。</li> <li>水酸化カルシウムを用いた根管消毒剤の貼付の目的と意義を理解し、使用する各種薬剤の特徴、器具の使用法ならびに術式を習得する。</li> </ul>	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療

					・電氣的根管長測定法の術式を習得する。	
28 ～ 29	A班 ～ B班	11.12 ～ 11.12	1 ～ 2 3 ～ 4	10. 根尖病変付き 模型による根管治 療Ⅱ 1)感染根管治療Ⅱ 髓室開拓～根管拡 大・形成 2)仮封法Ⅲ（二重 仮封法） 3)水酸化カルシウ ムを用いた根管消 毒剤の貼付 4)理解度チェック （教） pp.48-50 pp.56-61 （参1） pp.85-150 （参2） pp.115- 144	・第9回実習で用いた感染根管歯を 用いて感染根管治療の基本術式を習 得する。 ・根管拡大・形成の目的と意義、治 療を施行する際に留意すべき事柄な どを理解する。 ・根管消毒剤の確実な薬効を得るた めに用いられる仮封法（二重仮封 法）の術式を修得する。 ・水酸化カルシウムを用いた根管消 毒剤の貼付の目的と意義を理解し、 使用する各種薬剤の特徴、器具の使 用法ならびに術式を習得する。 ・電氣的根管長測定法の術式を習得 する。 ・第10回実習前に実習内容の理解 度をチェックする。	E-3-3)-(2) 歯髓・根尖性 歯周疾患の診 断と治療
30	A 班・ B班 合同	11.18	3	11. 根尖病変付き 模型による根管治 療Ⅲ 1)根管消毒剤の除 去 2)根管拡大・形成 3)根管細菌培養試 験・塗抹試験 4)固型体根管充填 法 （側方加圧充填 法） （教） pp.43-47 （参1） pp.85-176 （参2） pp.115- 162	・2020年11月19日（木）に行う 根尖病変付き模型（前歯）を用いた 感染根管治療Ⅲの実習前講義を遠隔 で行う。 ・出欠確認を兼ねて、classroomに て小試験を行う。 ・第10回実習で根管消毒剤によっ て病態の改善が得られた歯に対す る一連の根管治療を実施し、固型体根 管充填（側方加圧充填法）まで実習 する。 ・根管内の無菌状態および根管充填 の時期を推測する「根管細菌培養試 験」の概念と基本術式を学ぶ。ま た、根尖周囲組織疾患（根尖性歯周 炎）の病態を確認する「塗抹試験」 の実際をデモにて学習し、実例の顕 微鏡写真を供覧することでその有用 性について理解を深める。	E-3-3)-(2) 歯髓・根尖性 歯周疾患の診 断と治療
31	A班	11.19	1	11. 根尖病変付き	・第10回実習で根管消毒剤によっ	E-3-3)-(2)

～ 32	B 班	11.19	～ 2 3 ～ 4	<p>模型による根管治療Ⅲ</p> <p>1)根管消毒剤の除去</p> <p>2)根管拡大・形成</p> <p>3)根管細菌培養試験・塗抹試験</p> <p>4)固型体根管充填法 (側方加圧充填法)</p> <p>5)理解度チェック (教) pp.43-47 (参1) pp.85-176 (参2) pp.115-162</p>	<p>て病態の改善が得られた歯に対する一連の根管治療を実施し、固型体根管充填(側方加圧充填法)まで実習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根管内の無菌状態および根管充填の時期を推測する「根管細菌培養試験」の概念を学び、その基本術式を習得する。また、根尖周囲組織疾患(根尖性歯周炎)の病態を確認する「塗抹試験」の実際をデモにて学習し、実例の顕微鏡を供覧することでその有用性について理解を深める。</li> <li>・根管充填後にエックス線写真を撮影して評価し、問題点と対処法を理解する。</li> <li>・第11回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>	<p>歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療</p>
33	A 班・ B 班 合同	11.25	3	13. 実技試験 (Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年11月26日(木)に行う実技試験について説明および講義を遠隔で行う。</li> <li>・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。</li> <li>・実習で履修してきた実習項目に関する実技到達度を評価するために実技試験を行い、一連の術式を再確認し、問題点を理解する。</li> </ul>	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
34 ～ 35	A 班 ～ B 班	11.26 ～ 11.26	1 ～ 2 3 ～ 4	13. 実技試験 (Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習で履修してきた実習項目に関する実技到達度を評価するために実技試験を行い、一連の術式を再確認し、問題点を理解する。</li> </ul>	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
36	A 班・ B 班 合同	11.28	3	13.実技試験のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回と第13回で行った実技試験のフィードバックを行い、一連の実習内容への理解を深める。</li> </ul>	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
37	A 班・ B 班	12.2	3	12. 彎曲根管に対する根管形成 1)ニッケルチタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年12月3日(木)に行う実技試験について説明および講義を遠隔で行う。</li> </ul>	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診

	合同			<p>ファイルを用いた根管拡大形成</p> <p>2)様々な根管充填法</p> <p>(教) pp.62-73</p> <p>(参1) pp.115-176</p> <p>(参2) pp.123-162</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。</li> <li>・彎曲根管に対するニッケルチタンファイルを用いた根管拡大形成を学修する。</li> <li>・様々な根管充填法の目的と意義を理解し、その術式を修得する。</li> <li>・第12回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>		断と治療
38 ～ 39	A班 B班	12.3 12.3	1 ～ 2 3 ～ 4	<p>12. 彎曲根管に対する根管形成</p> <p>1)ニッケルチタンファイルを用いた根管拡大形成</p> <p>2)様々な根管充填法</p> <p>3)理解度チェック</p> <p>(教) pp.62-73</p> <p>(参1) pp.115-176</p> <p>(参2) pp.123-162</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彎曲根管に対するニッケルチタンファイルを用いた根管拡大形成を学修する。</li> <li>・様々な根管充填法の目的と意義を理解し、その術式を修得する。</li> <li>・第12回実習前に実習内容の理解度をチェックする。</li> </ul>		E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療
40	A班・ B班 合同	12.16	3	<p>14. 実技試験(Ⅲ)</p> <p>1)根管口明示試験</p> <p>2)器具回収</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年12月17日(木)に行う実技試験について説明および講義を遠隔で行う。</li> <li>・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。</li> <li>・履修してきた実習項目に関する実技の到達度を評価するために、実習用マネキン顎模型および顎模型人工歯を用いて根管口明示試験を行い、一連の術式を再確認し、問題点を理解する。</li> </ul>		E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療
41 ～ 42	A班 B班	12.17 12.17	1 ～ 2 3 ～ 4	<p>14. 実技試験(Ⅲ)</p> <p>1)根管口明示試験</p> <p>2)器具回収</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修してきた実習項目に関する実技の到達度を評価するために、実習用マネキン顎模型および顎模型人工歯を用いて根管口明示試験を行い、一連の術式を再確認し、問題点を理解する。</li> </ul>		E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療

43	A 班・ B班 合同	12.23	3	15.実習全般の試験 および解説 1)平常試験 2)解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年12月24日(木)に行う平常試験について説明を遠隔で行う。</li> <li>・出欠確認を兼ねて、classroomにて小試験を行う。</li> <li>・実習全般にわたる履修項目に関する平常試験により、実習内容の理解を深める。</li> <li>・試験実施後はその解説を聞き、理解を深める。</li> </ul>	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療
44 ～ 45	A 班・ B班 合同	12.24	1 ～ 2	15.実習全般の試験 および解説 1)平常試験 2)解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習全般にわたる履修項目に関する平常試験により、実習内容の理解を深める。</li> <li>・試験実施後はその解説を聞き、理解を深める。</li> </ul>	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性 歯周疾患の診 断と治療





## 担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
歯科保存学第II講座	1151	武市 収
	1204	林 誠
	1241	勝呂 尚
	1803	清水 康平
	2294	羽鳥 啓介
	2968	安川 拓也
	3084	鈴木 裕介

